



歯ミフエスタ▼多摩 2017

障害者の歯と口の健康づくり実践報告会

報告書

ずっとなかよ^し歯



平成30年3月



東京都保健所



障害者の歯と口の健康を創り出すために

～歯ミフェスタ・多摩が目指すもの～

障害者が安全に食事を摂取し、良好なコミュニケーションを獲得するために、歯と口腔の健康は欠くことができないものです。これは、歯と口腔が、生きるために必要な「食べる機能」や、社会参加のために必要な「話す機能」など、さまざまな機能を担っているからです。障害があると、その食べる機能が発達しにくい場合があり、食事摂取が困難になりがちです。また、日常の口腔ケアが十分に行われていないと、むし歯や歯周病も進行しやすくなります。そのうえ、障害があることによって、歯科医療機関への受診が制限されることが少なくありません。

多摩地域の東京都保健所では、以前より、障害者の歯科保健医療の問題に取り組んできました。特に、歯科医師会の協力のもと、障害者施設における歯科健診や歯科保健指導、医療関係者への研修を行うことで、障害者の歯科受診を促進し、かかりつけ歯科医を持てる環境づくりを進めてきました。さらに、東京都、市町村、歯科医師会等との協働により、障害者が地域で歯科医療機関を受診するためのシステムも構築してきました。

しかしながら、こうした取組にも関わらず、地域にはまだまだ歯や口腔の状態が十分でない障害者が多数みられます。このため、東京都保健所は、各地域の特性に合わせた障害者歯科保健の方策を、市町村、障害者施設、医療関係者の方々と検討しながら、障害者の歯と口腔の健康づくりを推進していきたいと考えています。

多摩地域では、障害者施設において、障害者の歯と口腔の健康づくりを目指した活動が数多く行われています。こうした一つひとつの活動が、多摩地域全体に波及していく原動力となることを目指して、平成23年度から「歯ミフェスタ・多摩」を開催しており、今年で7回目を迎えました。当日は、各保健所管内から推薦された障害者施設の優れた活動が報告され、参加者に大きな感動を与えました。

本報告書は、こうした活動の重要なポイントを記録するとともに、多摩地域全体へ情報発信することを目的として作成しました。

今後も、「歯ミフェスタ・多摩」が、障害者の歯と口腔の健康づくりに寄与し、障害者のQOLの向上と社会参加を進めていくための機会となることを祈念します。



tooth

歯ミフェスタ・多摩 2017

日時：平成 30 年 1 月 18 日（木曜日）午後 2 時から午後 5 時まで

会場：ルネこだいら（小平市民文化会館）2 階中ホール

目 次

障害者の歯と口の健康を創り出すために ～ 歯ミフェスタ・多摩が目指すもの ～

1 開会の挨拶

東京都福祉保健局医療政策担当部長

矢沢 知子

代読 東京都福祉保健局医療政策部歯科担当課長

三ツ木 浩 …………… 1

2 講演

歯科診療における合理的配慮～我が家の長男の歯医者さんとの出会いから～

NPO 法人ふらっと代表

瀬戸本むつみ 氏 …………… 2

3 発表施設の紹介…………… 6

4 障害者施設歯科保健活動実践発表

(1) さやま園（東村山市）

阿部 由美子 氏 …………… 8

(2) 東京多摩学園（奥多摩町）

飯塚 大輝 氏 …………… 10

(3) AROMA（多摩市）

吉田 真佐紀 氏 …………… 12

(4) あさがお（国立市）

丸山 りえ 氏 …………… 14

(5) 未来工房にじ（三鷹市）

池本 齋生 氏 …………… 16

5 意見交換・質疑応答 …………… 18

6 講評

NPO 法人ふらっと代表

瀬戸本むつみ 氏 …………… 20

7 参加者所属内訳・アンケートまとめ …………… 22

8 「歯ミフェスタ・多摩 2017」アンケートとお知らせ …………… 30